(大正五年十一月二十二日第三種郵便物認可)

夕刊 磐城新聞
六月十三日發行
(日曜祭日翌日休刊)

舞踊を學ぶ意義

下

小寺融吉

現在に於ては、古い舞踊を學ぶ子供は女の子が九割九分を占めてゐるが、女のをどりも、男のをどりも教へ込まれる。男のをどりを教へられる事に依て、どんな利益があるかを云へば、技術的には女のをどりばかり稽古してゐると、身體がグニャ／＼してしまひ、カツキリしなくなる、それを補ふ事になる。精神的に云へば、男性的な活潑な物に氣おくれしない氣性を養ふ事になる、武士のおどりを教はれば、武士道の美點を覺ゑ、江戸ッ子のをどりを教はれば、江戸ッ子の長所を覺えると云ふわけである

女性的な男、男性的女が世間には多い。また男には男特有のいゝところ、女には女特有のいゝところがある、男女はそれ／＼異性の美點を身につけた方が仕合せで、日本の古い舞踊はそれを實行してゐた。だから女師匠で男まさりで、而も粗暴な點のない、十分に女らしいと云ふ人が多いわけである

ずつと以前、伊庭孝氏が若い演劇ファンに、こんな話をされた事があつた。素人が芝居をすると云ふ事は人生に對する知識を獲得する事になり、殊に若い婦人なぞは誘惑に打勝つ力を得るだらう——と。かうした例は實際に珍らしくない。ある學習院出のお孃樣が、ある時ある映畫館で不良から名刺をもらつた。普通ならばふるへ上るであらうところを、鼻唄を唄ひながら名刺を引き裂いて、高い窓から外に捨てた、その時お孃さんは嘗て見物したディートリッヒのモロッコの一場面を思出して、自分自身、劇中の人であるかの如き客觀的批判をしつゝ、少しも驚かずに、いともほがらかであつたと云ふ

藝術に親しむ事は、親や先輩の教訓に匹敵する必要事で、その親しみかたも、深ければ深いだけの事があるのだ。話せばまだ／＼盡きないが、こゝらで今日は措かう。但し此の事は是非云つておきたい。現在、古い舞踊の方に良師が非常に少ないと

磐城歌壇

新妻久滿夫選

草野みどり

○初當に供へし香は紫の、煙かすかにゆらぎをるかな

○かつと照る太陽さけて葉櫻の、大木の本にうづくまりをり

○ひそやかに薔薇の背に咲き出でて、紫匂ふ桐の花笠

○馬肥のぶんと匂ふや倉の背戸、一本楡の花あふれ咲く

○露光る小草にからむ黑毛虫、そゞ餓れしさへ落ちぬ無氣味さ

○聲たてゝ本讀み疲れしばらくは、柱時計の音に聞き入る

小評 漸次歌の姿が落ちついて來た樣である 第四首二句「ぶんと匂ふや」は不可。上の句は一寸俳句かと思はれる。○○やといふ助詞の用法は最初失敗し勝であるから注意すること

この歌でも中心は下の句であるのに拘らず、○やが詠嘆の助詞として用ひられてゐる爲、一二句が強くなり過ぎてゐる。上句はバックだからその必要は無いと思ふ。實朝の『箱根路をわが越え來れば伊豆の海や』のやは限定の意味のやで中心の下句の意を損ねてはゐない それから第六首『聲たてゝ』の歌はいつもに似合はず凡。

俳諧因果は廻る

鵜澤四丁

俳壇に自由律俳句を提唱するものがある。自由律といふのは定型律俳句の反對の俳句構成法といふ意であらう。定型律俳句とは即ち從來の五七五調を指すのであるが、これは古いからそんな五七五に構はず五七でも七七でも八六でも自由な形で詠出すべきであるといふのであらう

○

西洋の諺に古き皮袋に新しき酒は盛れない、といふ意味の事がある。これを詩の場合などにもよく引用される。新しい詩想は自ら新しい詩型を要するといふのである。そこでこれを俳句の場合にあてはめて新しい俳句を作るには、自から詩型も新しくなければならないと主張するのであらう

一應尤な言ひ分であるが、自由律主張者は俳句の定形を認めない、また俳句の必要條件たる季題も無視するといふのである。かうなると俳句とは何ぞやといふ定義を定めて置いてからそれを論じなければならないことゝなる、これが大切なものである。俳句の定型は五七五調であり、必要條件として季題を要する、これが從來の俳句の定義である。この定型及季題を無視するとすれば定型論者からいはすれば自由律は俳句でないといふことになるのである。それであるからこれまでよく論ぜられたやうに何故に自由律論者がこの俳句といふ名目に戀々として居るのであらう。よろしく他の名目を冠すべきではないか。新短詩とか、或は何々とかいふべきであらう

○

寄居虫(やとかり)といふ虫は常に他の卷貝の介殼の空虚な中に寄居して生活して居るものであるが、自由律俳句といふものはよく似て居るではないか。何を苦しんで古いと云ふ從來の俳句の殼にもぐり込んで得々として居るのであらう。そんな古貝などはかなぐり捨てべきではないか、自由律と云ふ新しき詩ならば堂々として新しい自己の殼を何故造らないかを不思議に思ふのである

(以下次集)

そうかも知れん

鴻以智

——貴樣はセンチメンタリストだな
……そうだ
——捨てちまへ
……時の問題だ
——よく生きてるな
……きまつてる
——何うしてだ
……仕事がある
——何だ
……自分にも解らん
——希望がなくちや生きられまい
……でも死ねない
——元氣が無いんだらう
……そうかも知れん
——矛盾してないか
……してる、だが社會自体が既にそうだ
——みんな嘘つてるぞ
……それが何うした

社會の今日

6月14日

△毛利元就歿す(元龜二)△武田信玄甲斐に自立す(天文一〇)△滿洲國承認冷議案衆議院通過△臨時議會終る△野村中將等上海より凱旋(昭和七)△滿洲國は金輪出禁止法を公布(同八)

○

梅雨寒や腹にのせたる小搔卷 量人

部屋ぬちにたかく匂へる鈴蘭に、忘れんとせし人を想ふも 柳河珂玖珥

講談

浪人長屋 (110)

日岐武志作 月草道子畫

愛することの

『いやいや、お蝶どのが居なかつたら、あのまゝ死んでしまうたであらう。敵討も、希望も、そのまゝ終りになるところだつた。救はれました。ごおんですよ。あまつさへ、大事な秘藏の蛇まで殺して手當てをしてくださつた。お蝶どののそのまごころをおもふと、ありがたくて涙がもよほすほどうれしくおもはれます』

鐵彌は感謝のまごころを浮べていつた

その兩眼はしづかに澄んでゐた

お蝶は何故か、熱いうれしさに胸がつまつた

『鐵彌さま、ごおんといふ言葉はあたしから申しあげねばなりませぬ。この二月の間、朝に夕にお傍に介抱させていたゞいてゐるうちに、お蝶のこゝろには昔のきれいな汚れのないものが蘇がへつてきました。幼いころの素直な、うぶな、たましひを取り戻すことが出來ました。長い間の旅鳥のお蝶、すさみきつたあたしのこゝろを洗つてくださつたのは鐵彌さま、あなたなんです。うれしうございます。うれしうございます』

お蝶は急に袂で顏を蔽うた

『愛することの、うれしさが、しみじみわかりました。あたしはこの世の中で、蛇と、鐵七だけを愛して生きて來ました。その外のものは、みんなあたしの敵だとおもつて、憎んで、呪つて生きて來ました。それだのにこの頃になつて、はじめて世のなかにはもつと溫かいものがあることを知りました。愛することが、どんなにうれしくて、きれいなものであるかが、しみじみわかつてきました。あたしはうれしくてうれしくて…』

道子

お蝶は細い肩をふるはしてうれし泣きに泣き入つた

旅から旅へ、さすらひの蛇遣ひお蝶にも、女らしい嬌や、なさけを持つてゐた

鐵彌はだまつてゐた

どういつていゝのか、わからなかつた

——荒んだたましひが、昔の純なこゝろにもどつた——お蝶の、その可憐なこゝろは、鐵彌にはよく分つてゐた

二月の間、鐵彌の枕元からはなれなかつたお蝶である

まごころこめた手が、晝も夜も傷ついた鐵彌の軀をいたはりつゞけてきたのだ

愛なくては出來ぬ二月であつた

——愛することのうれしさが、はじめてこゝろに蘇へつた……

お蝶は、そのうれしさにうれし泣きをしてゐるのだ

だが、鐵彌にはもつと別なものに、あるおそれを抱いてゐた

戀——

あきらかに、お蝶は鐵彌をいとしいものとおもつてゐる樣だ、折にふれ、時にふれ、眼が、姿がものがたつてゐる

鐵彌には靜香といふ、いゝ仲の娘がゐる。それをお蝶も知つてゐた。知つてをればこそ、じぶんのおもひを打ちあけかねてゐるのだ。おつとくるしんで、惱んでゐるお蝶の姿を見ることは、いぢらしくて、おそろしかつた

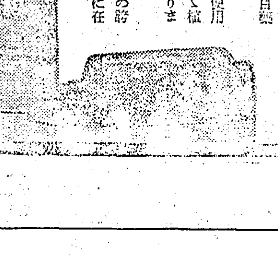
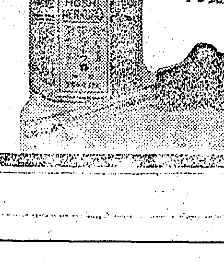
ある時は、眼が怪しいばかり燃えて鐵彌を苦めた炎が、熱く、顔にかゝつて息ぐるしいやうな、なやましさを覺えるのである。

艶やかな花びらが火を吐いて、ぐらぐらと、くづれかゝつてくるのだ

怪しい蜘蛛の巣にかゝつたやうに拂つても拂ひきれなくて、もがき縋てゐる鐵彌。戀の地獄だ

松村醫院
院長 松村鐵郎
平町南町 電一〇七

駿馬の斷き血は躍る
鵜島競馬へ!!!
十六日(土) 十八日(月) 二十三日(土)
十七日(日) 廿二日(金) 二十四日(日)
晴雨不拘 毎日午前六時出發—午後九時歸着
會費金五圓也
△募集人員毎日五名限り▽ 晝食と特等入場劵進呈…
平驛構內と一般貸切 電話三二一番
不二タクシー

★クスリはホシ
健胃整腸劑 ホシ胃腸藥 特大 大型 中型 小型 二·〇〇 一·〇〇 〇·五〇 〇·二〇
消化劑 ホシ胃腸錠
胃腸整理藥 ホシチヤコール錠
外傷と皮膚病の家庭常備藥 ホシマークロ 15瓦入 ¥0.30
◇主治効能 火傷、腫物、濕疹、とびひ、ひゞ、あかぎれ、蕁麻疹、皮膚搔痒症、しらくも、はたけ、たむし、いんきん、みづむし
(1)「ホシ胃腸藥」に芳香性、苦味性、苦味性等の健胃劑を適當に配劑し、消化機能の活動を旺盛ならしむるものであります。
(2)「ホシ胃腸錠」は澱粉消化酵素たる「ヂアスターゼ」と蛋白質消化劑なる含糖ペプシンとを各々四〇%づゝ含有し、錠劑それ自身が直接に食物の消化に任ずるものであります。
(3)「ホシチヤコール錠」は活性炭素の錠劑でありまして、胃腸障碍の原因たる有毒瓦斯、毒素等を吸着して體外に排出します。
(4) 以上三種としてはこの三種が胃腸障碍に對する三つの治療法を示すものであります。
(5) 卽ち消化器に向つて命令したり、おごしたり、すかしたりして十分に其の機能を發揮せしめ健全なる胃腸を保たしむるもの「ホシ胃腸藥」。消化不良を救助して胃腸機能を恢復せしむるのが「ホシ胃腸錠」。胃腸內に有毒有害の物が存在する時、悉く之を吸着整腸するものが「ホシチヤコール錠」。
ヴイタミンB劑 ホシB・G 脚氣諸症最新藥 二·〇〇 一·〇〇 〇·五〇
◇本劑一錠は玄米三百瓦(約二合)の含有するヴイタミンBに相當します
◇本劑はヴイタミンB以外にも重要營養素を多量に含有するを以て脚氣の根本治療に適切であります
ホシオールライト目藥
ホシ目藥
(1) 文化藥劑としての目藥の任務は收斂消炎、消毒、防腐の作用を持つべきものであることは說明を要せぬ所でありますが、問題は原料の精選にあり、そして又一時の苦痛を除かんがために强烈な藥劑などを用ひて將來の禍因を作つてはならないとであります。
(2) しますになほる「ホシオールライト目藥」は、「ホシ」の研究室が、「植物性の物を主食とする國民にとつては植物性の藥劑が適切であるべき筈である」との見地から、研究し調劑したる目藥であります。
(3) 日本古來からの目藥は凡て植物を使用致しました。「めぎ」と稱せらるゝ植物の名も此處に原因を持つのであります。即ち、「ホシオールライト目藥」の誇りは、純日本的なものであることに在るのであります。
(點眼容器入) 〇·二〇 〇·三〇
東京・五反田 星製藥株式會社


ホシチエンストアー平支部
ホシ藥舖
平町三丁目三〇
電話四二九番

明治節前後を期して奉祝と非常時意識强調

今端午節句の行事を延期して

平第一小學校の壯擧計劃

平第一校では既報の如く皇太子殿下御生誕奉祝記念行事として手工受持各師總指揮各訓導指導の下に大鯉幟を作成、之れを來る舊端午の節句に掲揚しその下に大運動會を開き兒童の相撲を催し住き日を壽き奉り同時に非常時氣分を强調する計劃であつたが手工專科教師の退職、校長の會合出席その他教育會同の頻出から多忙で未だ具体的協議の行はざる中に期日目前に迫り加ふるに相撲は相當練習を要するものである所から此度は來る二十七日尋四以上二十八日その他の日割に分け体操演習會を開き簡單なから之を濟ませ來る明治節又はその前後に於て盛大に開催、而してその後は年中行事として毎年行ふことにすると

總裁宮の御前近く 愛婦有功章を拜受

平町の會員十九名

來る三十日縣教育會館に於て總裁宮の臺臨を仰ぎ開催される愛國婦人會支部總會で有功章拜受の平町關係者左の如し

酒井トミ、江口コウ子、大津賀ツタ、有馬秀子、猪狩ワカ、藤居ヤイ、阿部コト、吉田タマ、高フミ、諸橋雪子、增田靜枝、安齊米子、關內品、原八重子、井坂サイ、清水ユキ、藤原トメ子、河田きよ、酒井サイ子

縣下大會を前に 双中と小手調べ

磐中競技部戰鬪準備

磐中競技部では來る八月一日白河中學グラウンドに於て擧行される縣下大會を目指し昨年の慘敗を一擧に雪辱せんものと猛練習を續けて居るが現在の所記錄は藥谷、小野兩君の百米タイム十一秒六臺、同じく二百米二十五秒臺、八百米繼走一分四十秒、鈴木君の五千米十七分臺等が主なるもので何れも大いに有望視されて居り記錄は益々短縮されるものと見られて居るが來る二十四日小手調べとして双葉中學同部を迎へ左記種目により對戰すると

百米、二百米、四百米、千五百米、八百繼走、走高跳、走巾跳、三段跳

靑訓生勸誘

二日目も成績良好

平青年訓練所の生徒勸誘第二日は昨十二日午後一時から甲班は齋藤榮三郎氏班長に紺屋町、一丁目、二丁目、三丁目方面を歷訪、入所決定八名、同有望八名、乙班は佐藤伊太郎氏が班長に立町、禰宜町、鎌田町、五色町、下川原町方面を勸誘、入所決定七名、同有望五名の成績で前日の分も合せて入所決定三十三名、同有望二十六名を獲得、引續き今

である

希望四百名

昨日締切つた

夏井川人夫登錄

平職業紹介所取扱ひ夏井川改修工事就勞希望者登錄は昨十二日で締切つたが既報の如く豫想の三百名を突破、男二百三十五名、女百三十八名、計三百七十三名

十三日及び明十四日まで行ふが五十名確實決定は困難と見られるも豫測以下の場合は再度の大勸誘ある模樣であつたと

季節と需要狀況で 送炭率を考慮

最近漸く頭打ちの觀

一時未曾有の好況を謳歌した內地炭界も最近に於ては夏場不需要期並に增延の結果よりして貯炭額も漸增しつゝあり炭價の如きも最高當時より噸當り五、六十錢の値下りとなりこゝに漸く炭況頭打ち諸兆候を示し始めた、右による影響を最も端的に受ける中小炭坑業者を以て組織する九州互助會では現在既に貯炭は常備貯炭たる百五十萬噸を遙かに越ねて居り、更季不需要期末における貯炭の激增を憂へ石炭鑛業聯合會にこれが事前の防止策考究方を提議し來つた、即ち九州互助會石炭鑛業聯合會並に昭和石炭の一部聯合協議會は十一日正午より丸ノ內工業クラブにおいて開催され席上互助會より聯合會側に對し現在聯合會に於て實行中の送炭調節方法は一年を通じて行はれ爲に夏季及び冬季に於て需給に均衡を欠くきらひあり送炭率を需要期不需要期に區別し以て實際に適した調節法を採られたしとの正式提議をなした、右提議をめぐつて兩者間には數時間に亘り意見の交換が行はれたが何等具体的決定は見ず更に會合を續開することゝなつて七時過ぎ散會した

貯炭高增加

去月中の全國統計

石炭鑛業聯合會調査五月中旬全國貯炭額は左の如く石炭はいよいよ本格的に不需要期に入り貯炭は四月末に比し僅か半ケ月間に四萬九千餘噸を增加した

(單位千噸△印減)

	五月中旬	前月末增減
坑所	四一三	九
港頭	七六二	四八
市場	三九五	△八
計	一、五七〇	四九

日立電力附加税決定

營收に對して五千五百圓

平町及湯本、好間、赤井の各町村が日立電力株式會社に對する七年度分營業收益税附加税額は既報の如く平町に於て合計前期二、四八二圓、後期三、〇四五圓、合計五、五二七圓の協定案を作製關係各町村に通知したが何れも異議なしとして今十二日賦課する事になつた、尙川前村からも分割賦課の要求あつたがこれは營業收益税及町村税に該當せず却下された

一般加入者から 臺灣朝鮮へ通話

水戶以上の便宜を惠まれ

來廿日から實施

平局では既報の如く來る二十日より內臺、內鮮電話を取扱ふことに決定したが之を一般に知らしむ可く何等かの廣告手段に出づ可く目下考究中である。因みに右電話は水戶等では長距離加入者以外は通話出來ないが平は一般加入者がこの便宜に均霑すると

九品寺托兒所開始

平町九品寺托兒所開所式は昨十二日午前十時から酒井助役其他來賓三十餘名を招き擧行、直に北白銀町當野アイ、城山吉田タミ、九品寺柴田モトの三保姆により保育を開始したが仲間町、白銀町、五丁目、大工町方面から男四十五名女四十四名、計八十九名中子守附きの三才以下幼兒は十名、今十三日は男女百三十名になり來る廿日前後の田植ゐ時になれば百五十名位になるだらうと

◦◦◦◦貯水池掃除　好間村上野原水道貯水池掃除は來る廿日行ふ

らう

◦◦◦◦香奠を盜む　神谷村大字鎌田字小山下一七雜貨商勝倉彌藏方で去る十日夜病死した二女シメ子(二四)の葬儀に受けた香奠八十餘圓を何者かに窃取され届出により平署で嚴探中

北目町で水騷ぎ

苗代が乾上るので

町當局に窮狀を訴ふ

毎年水不足に惱まされて居る好間江筋の流域である北目町附近は今年も亦田植季を控えて同地一帶の苗代に不足を來したので此程平町當局にこれが善後策を申込んで來たので町では昨十二日午後一時から水道委員會(江名、豐間より築港使用レール借用願出。及使用者五戶未滿の公設共同栓撤去に際しては區長の意見を徵取外す事外雜件附議)を開き今十三日花澤、高橋、川崎の三委員が村當局と打合せする處あつたが取敢ず共同栓から放水し好間川から高月臺に動力揚水する事になるらしいと

既往を改悟に清算 雄々しく新生に

軍隊で成功の元教員某

昨年八月夏季休暇で郡下某濱に歸省中徒然から同町の鼎服行商某と骨牌を弄び平署より略式で科料に處された當時某小學校代用教員仁井田二郎(二六)假名―は檢擧以來某校に轉じひたすら謹愼の意を表し略式命令下るや即日平第三校に開催の產業青年協議會出席中の所屬校長を訪れ辭表を提出、自責の念から自殺を圖て家人に監視されつゝ自宅に引籠つてゐたが適々自力更生の意から軍隊生活を志し去る二月高田騎兵隊に入營、その後成績拔群で第一番に下士に陞進、目下同隊に更生中でその前途を囑望されてゐると

江口氏快癒

平常通り執務

平町堀江工業株式會社々長江口忠一氏は曩頃東京に於て發病爾來只管靜養中であつたが其後の經過頗る順調で此程全く快癒一昨十一日歸平平常通り執務する事となつた

湯本、四倉間延長五里の自動車道路案頗る有望

距離、交通量其他各方面から觀察

郡山、福島間に比して可能性濃厚

平町幹線道路の鋪裝を機會に湯本町から內郷村―平町―神谷村―草野村―大浦村を經て四倉町に至る延長五里の國道八號線所謂縣街道を鋪裝して未だ縣下に類例なき近代的の自動車道路たらしめんとする計劃が過般來寄々關係町村首腦者間に行はれ青沼平、石川湯本、新妻四倉各町長連署の上近く內務省に陳情し、その實現を期する事となり、石川湯本町長の如きは昨十二日青沼町長を訪れ(但し不在)た程の張り込み方で大に今後の成り行きを刮目されてゐる、而も目下之と同樣の計劃を進めてゐる郡山―福島間のそれに比し短距離にして且つ交通量の多い事、且つ各町村集團地の點在振りか强ち湯本―四倉間と云はず、豫算等の關係ある場合適宜分割施工し得る便宜ある事等、彼此極めて良好なる條件に惠まれてゐるので其の運動宜しきに於ては前記郡山―福島間より遙かに可能性が濃厚であると觀られてゐる

平―小名濱にも 古くから同計劃

但し豫側つかぬ實現期

强ち今に始まつた話しでは無いがこれ亦快速急調の現今にふさはしい地方交通界の一エポックとも觀るべきものに『平―小名濱間直線自動車道路』なる計劃がある、現在兩町間の自動車往復は迂回と凸凹激しい爲片道約四十分を要する鹿島道路をガタゴトやつて居ると云ふ非現代的のものを幅員三間にコンクリートで鋪裝すると云ふ案、之れによると所要時間も現在の半分以下の約十五分間に短縮出來將來平―小鐵道開通後も隨時發車の强味で汽車を斷然ノックアウトする方針であると、但しいつの事やら實現は蓋し程遠い將來であ

投槍

投書歡迎

◦◦◦◦◦◦下水掃除に防臭劑

◇最近頻りに下水掃除が勵行され、之が爲完全とは行かぬ迄も汚水の停滯が除かれつつあるは病氣の媒介をなす蚊蠅の發生を防ぐ意味に於て且つ町の体裁から云つても誠に喜ばしい事である

◇が併し之が爲掃除前後の何日間かに亘つて附近が殆ど交通困難の狀態に陷る事は未だ忍ぶとするもアノ鼻を衝く臭氣は殊に今後の暑さに向つて堪へ難いものがある

◇衛生上所謂拔本塞源の荒療治をする爲には、臭氣位は我慢せねばならぬかも知れぬが之に因つて空氣を汚染する非衛生的な結果を考へるならば何とか防臭劑でも撒いて欲しいと思ふ

◇死んだ鼠やゴノ菌豐富な小便や、ご念入りに野菜の屍つぺた迄入つた流し水などがカクテルされたあの汚泥を、而も自然に臭氣の發散し盡す迄烈日の下に曝す事は民衆の保健上斷じて即刻改善の要がある、敢て關係筋の濟鑑に愬ふる所以　(三丁目裏尼損流城居住民)

賭博團八名中、女二名逃走

昨夜湯本で手入れ

昨十二日午後十一時頃湯本町字櫻ノ町前科五犯越智新一方で同人の外男五名、女二名が車座になり花合せ賭博開張中平署員に踏込まれ左記五名を檢擧男一名、女二名は逸早く逃走目下嚴探中

好間村大字上好間字大畑隅田川炭鑛坑夫岩崎幸作(四三)內郷村大字綴字一の坪五九新開配達賭博前科三犯畑藤次郎(四五)水戶市松本町五丁目興行屋同前科一犯阿部喜一(三六)小名濱字西町魚行商同渡邊太五郎(三七)

木村技師歸省

滿鐵地質調査所長理學士木村六郎氏(湯本町出身磐中第八回生)は北黨看護の爲爾三日來賜暇歸省中で昨十二日夜は同町公會堂で同氏を中心に滿洲に關する座談會を催し盛會であつた

伏見夫人長逝

前平町長伏見彦衞氏夫人チヨ氏は豫て病氣の處藥石効無く昨十二日午前八時十分福島市新町六四の自宅に於て死去した、葬儀は明十四日午後二時途中行列を廢し同市早稻町東安寺に於て告別式を執行すると、行年六十歲

雇はれぬを恨み 通行の知人に投石

暴行醉漢に罰金刑

植田町大字小濱字臺一三農柳葉重義(四二)は四月二十三日午後六時半頃同町字渚地內道路で泥醉して同字大友信愛方遠藤一(三七)に逢ひ豫て人夫に雇はれ方を申込み斷られた舊怨から有合せた拳倍大の石を投付け左肘關節前側面に全治一週間を要する挫傷を與へ此程平區より略式罰金二十圓に處された

平局電報 差立注意

平局では「あてになる電報」「皆樣の電報」をモットーとして電報を取扱つて居たがこの程その目的を貫徹しサービスの萬全を期するには一般民衆の助力に俟つより外になしとし之が取扱上屢々支障を來した實例に徵し假名遣ひを正しく、宛名を正確に、私製賴信紙の裏面には成る可く普通廣告と見誤り易き廣告を載せないこと等の各項を利用者に通牒することになつた

セメント事件 一味十二名召喚

近く書類送檢か

昨報―夏井川改修工事に絡はる窃盜事件は首犯酒井直白(三四)の檢擧により芋づる式に延び昨十二日は關係者として志賀準(三四)、片寄甚四郎(三五)、箱崎幸助(四二)、大和田幾雄(四五)、渡邊善六(三六)、大友章(四三)、大和田金彌(三六)太田勝吉(三五)箱崎壽昌(三二)、片寄正二(四三)、片寄武(四三)の十一名を召喚、渡部司法主任係り嚴重取調べた結果去る三月中立直方倉庫に置いたセメント二十二俵(時價三十一圓九十錢)を同人の外準、甚四郎、金彌の四名が共謀で拂ひ前記關係者に情を明かしてこれを立直に十圓で賣却、飯野村字山崎の正二宅で飲食、立直は更に人夫頭の武に一俵七十錢の割で賣り渡し、これを如來寺橋梁並に用水工事に使用した事判明、取調べ一段落を告げたので一兩中日に書類送檢されるものと觀られて居る

十四日

日出 四、二四　月出前 五、四九
日沒 六、五八　月沒後 八、四九
滿潮 前五、二五 後八、〇〇　干潮 前〇、一五 後〇、三五

新六月十四日 木曜 丙辰 先勝 開 奎宿 舊五月三日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 世話事多く業務に專念し難き日 巧言に注意▲二黑の人 營業に邁進すべき日 他に心を移すは利なし▲三碧の人 內害ありとも吉事は望み難き日 起業開店凶▲四綠の人 生かひなき心地する日 爭論口舌に苦み多し▲五黃の人 邪氣閉されて一向に勝目なし 盜難遺失注意▲六白の人 障害は福利を産む 耐忍努力を要す 文書注意▲七赤の人 運氣良好にして多少の無理も通る 奮起せよ▲八白の人 萬事意の如く行はれて努力の功空しからず▲九紫の人 精勤怠る事なければ大發展を遂ぐべき吉日

御融通案內

一、掛金擔保
一、不動產擔保
一、有價証劵擔保

利子日歩二錢九厘(手數料調査費等頂きません)

但し當會社無盡の加入者に限ります

湯本信用無盡株式會社

電話四七番 振替仙台七九六四番

寫眞開業披露

最新式夜間撮影

出張は遠近に拘らず無料で參上致します。

目下開業披露として

本月末まで半額にて撮影致します

白銀町松崎デパート

高橋寫眞館

不肖儀病氣靜養中は何彼と御高配を賜はり誠に難有深謝致します。爾來只管攝養に努め最近では悉皆健康を回復し心身頓に快適一層自已の職分に精進すべく此程歸平致しました、何卒倍舊の御推挽を相仰ぎ度乍略儀以紙上御挨拶旁々御願ひ申上ます　敬具

昭和九年六月

堀江工業株式會社

江口忠一